

## 「こうあるべき」ほぐしシート

### STEP1

今のあなたはどうか？「定期相談は〇〇」の強さチェック！ ※1

まさしくその通りだ→◎ まあそう思う→○ そこまでは思わない→△

① 定期相談では、子供から悩みや本音はききたいと思う。

② 定期相談では、子供の口から話されることに価値があると思う。

③ 定期相談では子供の悩みや問題の兆候を把握し、対応するべきだ。

④ 定期相談ではしたいことが、いくつもある。  
(悩みの把握に問題の未然防止に…等)

⑤ 定期相談は、児童生徒を理解するための時間である。

※1 ①～⑤は教師が持ちやすい定期相談についての捉え (R6 教育相談部調査より)

### STEP2

①～⑤を子供の側からも見てみると、教師の思いとズレがあるかもしれない

① 「本音を言いたくない」というのも子供のホンネ。

② 言葉にならない気持ちもある。

③ 「先生に話して解決してもらおう」と思う子供は少数。 ※2

④ 子供は「自分の話したいことを先生が聞いてくれる時間」と思っている。 ※3

⑤ 定期相談前になると緊張は増大。普段通りの姿ではないかもしれない。 ※4

※2、※3、※4 R7 教育相談部調査より

### STEP3

◎について思いを柔らかくする「一言おまじない」を考えてみよう(例を参考に)。

強すぎないかな…？教師の思い

一言おまじない(例)

① 定期相談では、子供から悩みや本音をききたい

けれど

(例) 話すかどうかは子供の自由。言わない自由も尊重しよう。

② 定期相談では、子供の口から話されることに価値を感じる

けれど

(例) 非言語のコミュニケーションも大事。言葉以外の情報も大切に受け止めよう。

③ 定期相談では、子供の悩みや問題の兆候を把握し、対応するべきだ

けれど

(例) 一緒に悩むという支援もある。

④ 定期相談で、したいことがいくつもある

けれど

(例) この時間は子供の時間。教師のしたいことなら呼び出し相談・チャンス相談もある。

⑤ 定期相談は、児童生徒を理解するための時間だ

けれど

(例) 定期相談で見せる姿はある一面。緊張感や、話しづらさもある。いろいろな機会での理解を深めよう。